

平成29年度旭市総合教育会議開催状況

総合教育会議は、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政を推進することを目的としています。

第1回旭市総合教育会議の概要(6月28日開催)

●旭市の教育に関する大綱の重点目標(4)

「健やかでたくましく活力あふれる人を育みます」

生徒の健やかでたくましい体を育むために、中学校では部活動が非常に重要な位置を占めています。旭市では部活動の指導に民間の専門家の力を借りて、充実・活性化を図っています。現在の部活動は少子化により、学校によっては存続できない状況があるため、学区の自由化や学校を超えた合同チームの編成などについて意見交換がされました。

●旭市の教育に関する大綱の重点目標(5)

「学校、家庭、地域が一体となり、まち全体で子どもたちを守り育てる体制づくりを進めます」

地域の人材、特色などを生かして「学校いきいきプラン事業」を活用し、特色のある取り組みを行っています。

地域と連携した児童・生徒の安全確保の取り組みとして、安全パトロール、子ども110番の家、旭市通学路交

通安全プログラムなどがあり、子ども110番の家のさらなる設置やP R、通学路の合同点検の強化などについて意見交換がされました。

第2回旭市総合教育会議の概要(12月6日開催)

●いじめ防止に向けた対応

いじめ防止の対策として、旭市と各学校では未然防止、早期発見など、いじめに対する措置としてさまざまな取り組みを行っています。

重大事態への対処のため、いじめ防止などの対策を推進する組織の設置に向けて、準備を進めています。会議ではスクールカウンセラーや、スマートフォンの使用に関する情報モラル教育などについて意見交換がされました。

●学校の統廃合

平成28年度に「旭市学校のあり方検討委員会」を設置し、子どもたちのための教育の観点から、学校のあり方はどうすべきか検討しています。

小中学校の適正規模、適正配置についての検討経過を報告し、小規模校、大規模校のメリットやデメリット、学校の再編、統廃合の必要性などについて意見交換がされました。

※会議の結果は市ホームページで見ることができます。

旭市総合教育会議に関するくわしい内容は、庶務課庶務班(☎55-5721)まで問い合わせてください。

教育委員会コラム | 第1回 |



新米教師の頃

教育長
諸持耕太郎

私が教員としての第一歩を踏み出したのは今から43年前、昭和50年4月にさかのぼります。

1年目は授業や部活指導に慣れるのが精一杯、中でも印刷物には苦勞しました。今でこそワープロやパソコン、メールなど、情報伝達手段が飛躍的に進歩しましたが、当時は鉄筆で文字を書き、ガリ版刷りでテスト問題や各種便りを作成したものです。

2年目には待望の学級担任となり、その時の喜びは今

でも鮮明に残っています。初めての担任としてあれこれ考えた結果、私は日記指導に取り組むことにしました。毎日生徒が提出してくれた日記帳を読み、感想やアドバイスを赤ペンで書き込み、生徒の気持ちを少しでも理解しようと夢中でした。休憩も割いての返事書きで手一杯でしたが、一日が充実していたように思います。新米教師として失敗もありましたが、何とか3年間務め、卒業生を無事送り出すことができました。

以来日記指導は継続しました。良かった点は、生徒一人一人と一日一回は日記で向き合えたこと、加えて生徒の成長を一番身近で実感することができたことです。そして何より嬉しいことは、当時の生徒が今では地域社会のさまざまな分野で活躍してくれていることです。

今、学校を取り巻く環境は大きく変化し、学力やいじめ問題など課題も山積みしていますが、子どもに寄り添う視点を忘れず、「不易流行」を見極め、旭市の次世代を担う青少年の育成に精一杯努めていきたいと考えています。未来の旭市発展のためにも、学校・家庭・地域・関係機関の皆さまには、オール旭で子どもたちの成長の後押しをしていただけるよう、今後ともよろしくお願いいたします。